

リハセンだより



第74号

アルツハイマー病の新規治療薬レケンビ(一般名レカネマブ)について

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター病院長 下村辰雄

はじめに

2023年12月に新しい認知症の薬であるレケンビ(一般名レカネマブ)が発売されました。これまでの薬と違って認知症の原因となる脳内に貯まったアミロイドβというタンパク質を除去することによって症状の進行を直接抑制する効果が期待出来る画期的な薬で、「アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)」と「アルツハイマー病による軽度の認知症」の方が対象となります。この薬は認知症の専門診療を適切に行えるための基準を満たした医療機関でのみ使用できる薬です。秋田県では認知症疾患医療センターや認知症疾患医療センターと連携をとれる医療機関が該当します。

アルツハイマー病とは

認知症の原因となる疾患にはいろいろな病気がありますが、最も頻度が高い病気がアルツハイマー病です。アルツハイマー病では症状が出る何年も前からアミロイドβという異常物質が脳内に蓄積し始めています。このアミロイドβが塊となって神経細胞が障害されてくると脳の働きが低下し、アルツハイマー病による軽度認知障害という認知症の前段階を経て、アルツハイマー型認知症へとゆっくりと進行していきます。

レケンビ(一般名レカネマブ)

従来の認知症の薬(抗認知症薬:コリンエステラーゼ阻害薬やNMDA受容体拮抗薬)は神経細胞の機能低下を補うような作用を持つもので症状改善薬と呼ばれています。レケンビはアミロイドβの塊になる直前の状態に作用し、免疫反応でこれを脳から除去していく作用をもっています。病気(疾患)の根本的な原因を改善する疾患修飾薬としての役割を期待されています。この薬の効果は病気の進行を遅らせ、認知機能低下を緩やかにすることが見込まれています。

治療を受けるには

まずは、もの忘れなどの症状があり、その原因がアルツハイマー病であることをしっかり診断する必要があります。

このため、専門医の診察、神経心理検査(MMSEやCDR)、MRI検査などを受けていただきます。これらの検査で治療対象となることや安全に治療を受けることができそうであることを確認します。その上でアミロイドPET検査や髄液検査を受けてアミロイドが脳に貯まって悪さをしていることを調べる必要があります。

治療スケジュール

通院していただき二週間毎に一回一時間の点滴治療を行いません。治療の過程でMRI検査を受けて身体や脳に過度の負担がかかってないか確認します。もし負担の徴候が見られるようであれば一時休薬することになりますが、有効な効果を得るために18ヶ月間の治療が望まれます。

治療中の注意

点滴の伴う反応として頭痛、悪寒、発熱、吐き気、嘔吐などの症状が出るがありますが、治療は病院の治療室で行ないますので、何かあったら医師や看護師が対応します。またアミロイドβを除去する過程で脳に負担がかかり、脳の浮腫や出血が起こることがあります。多くは無症状ですが、まれに頭痛、錯乱、視覚障害、眩暈、吐き気、歩行障害などの症状が現れることがあります。

また、症状が出ないような小さい変化までも見つけて安全に治療を遂行するために定期的なMRI検査を受けていただきます。もし、何らかの症状が出たり、脳への負担が強い場合には一時的な治療休止や中断が必要な場合もあります。

治療費用

医療費は一月あたり約33万円ですので、保険適応後の自己負担額は1割負担で約33,000円、2割負担で66,000円、3割負担で約99,000円になります。しかし、高額療養費制度が利用できますので、年齢や収入に応じて一定の自己負担額を超える分の払い戻しがあります。また、自立支援医療制度を利用できる場合もあるので、ご不明のことがあれば、当センター医療相談連携室にご相談ください。

のう にん ちしょう しょうかい 「脳・認知症ドック」の紹介

事務部長 中泉 学

当センターでは脳に重点をおいた脳・認知症ドックを実施しています。

脳・認知症ドックにおける検査項目は①身体測定 ②血圧測定 ③血液検査 ④尿検査 ⑤心電図 ⑥胸部X線検査 ⑦MRI検査 ⑧頸動脈超音波検査 ⑨認知機能 (MMSE) 検査となります。

このうち①～⑥の項目については、事業所(会社)が従業員に対して定期的に実施しなければならない一般健康診断の項目、健康保険に加入している方が受診する特定健康診査の項目が含まれています。

⑦～⑨が脳卒中や認知症に係る検査となります。

⑦ MRI 検査

「脳卒中」の原因でもある未破裂動脈瘤や症状を来していない脳梗塞や脳微小出血、動脈硬化、脳腫瘍の有無の確認、認知症の原因となる脳の萎縮について確認することが出来ます。

⑧ 頸動脈超音波検査

「頸動脈狭窄症」の有無を確認することが出来ます。動脈硬化によって厚くなった血管壁や動脈硬化病変「プラーク」、プラーク表面に出来た血栓などを確認出来ます。

⑨ 認知機能 (MMSE) 検査

国際的に使われている検査で、認知機能を評価するものです。「時間や場所の認識」、「言葉の記憶」「簡単な計算」「復唱」「文章を書く」などいくつかテストをして認知機能のレベルを点数化して評価します。

脳・認知症ドックを受診して、自身の健康状態を把握し生活習慣を見直すことで病気の予防につながります。又、病気の早期発見はそうでない場合と比べ、予後に大きく差が生じる場合があります。

「脳卒中の家族歴がある方」、「高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙など動脈硬化の危険因子を持っている方」「慢性の頭痛や一過性の頭痛がある方」「物忘れのある方」は、一度、当センターの脳・認知症ドックの受診を検討してみてもはいかがでしょうか。

のう にん ちしょう あんない
「脳・認知症ドック」のご案内

早期発見・治療のためにまずは検査を

実施日 毎週金曜日(祝祭日を除く)8:30~
※1日2名まで予約可能

次の方へおすすめしています。

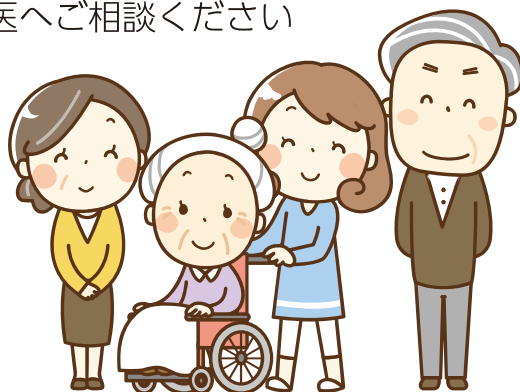
- ・脳卒中の家族歴がある方
- ・物忘れが心配な方
- ・高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙など脳卒中(動脈硬化)の危険因子を持っている方
- ・慢性の頭痛、一過性の頭痛がある方



次のような方はMRI検査が出来ない場合があります。

- ・心臓ペースメーカー(※MRI対応のものを除く)、人工内耳、植込み型除細動器の方
- ・体内に金属を有している方
- ・妊娠、または妊娠の可能性がある方
- ・閉所恐怖症の方

※かかりつけ主治医へご相談ください



検査内容のご案内

- ・身体測定 ・ 血圧測定 ・ 電解質検査 ・ 腎機能検査 ・ 尿検査 ・ 貧血検査
- ・ 血清蛋白 ・ 肝機能検査 ・ 脂質検査 ・ 糖尿病検査 ・ 心電図検査
- ・ 胸部X線検査 ・ MRI検査 ・ 頸動脈超音波検査 ・ 認知機能 (MMSE)

※検査結果は後日郵送いたします。

料金：44,880円 (税込)

※ドックの費用に関しては、市町村や加入している健康保険によって一部を補助する等を行っているところがありますので、これを利用すれば費用負担を軽くすることが出来ます。

検査の流れ

電話またはFAX予約

8:30 ~ 17:00
(FAX用紙はホームページまたは
総合受付から)

案内の郵送

検査日10~14日前

来院・検査

検査結果郵送

検査後約1ヶ月以内

検査例

■MRI (磁気共鳴断層撮影)

人体に危険を加えずに脳梗塞や脳腫瘍などの診断が可能です。またアルツハイマー型認知症の原因である脳の萎縮についても調べられます。



正常な例



萎縮した例

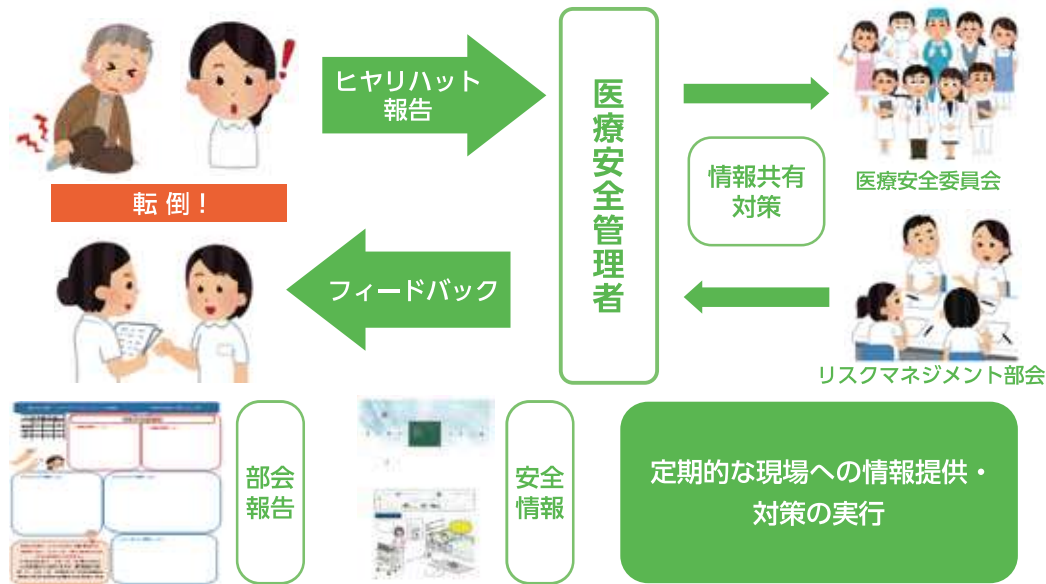


とう いりょうあんぜんかつどう
当センターの医療安全活動



医療安全管理者 堀江 美智子

当センターでは医療安全基本理念に基づき、医療安全管理委員会が設置されています。委員長である病院長・副病院長・各診療部長・所属部署長・医療安全管理者・医薬品安全管理責任者・医療機器安全管理責任者・医療ガス管理責任者・医療放射線安全管理者が参加し事故防止・安全管理・安全確保に関する会議を毎月1回開催しています。さらに、現場対策を実行可能とするため各部署のリスクマネージャーを配置し、リスクマネジメント部会を毎月1回開催しています。医療安全管理者は、ヒヤリハット報告をもとに、事例報告や再発防止対策などを行い、リスク部会で協議された内容をリスク部会報告として、全職員に回覧し、フィードバックしています。



リスクマネージャーは毎月院内ラウンドを実施し、院内ルールが遵守されているかチェック項目に沿って点検をしています。また、看護部のラウンドでは患者さんへの与薬時の方法などについても聞き取りし、定着状況を確認しています。

全職員対象とした医療安全研修は年2回以上実施し、医療安全に関する基本的な考え方【人は間違える】【人のせいにはしない】などeラーニングを活用した研修や院内ヒヤリハットの傾向などを報告し共有するようにしています。また、看護部研修では一次救命処置を行い、患者さんの救命・安全を第一とした対応ができるよう研修を行っています。

安心・安全は一朝一夕に達成できるものではありません。日々丁寧に、安心・安全な医療を提供できるよう今後も体制づくりに努めていきます。





とう かん せん たい さく 当センターの感染対策について



感染対策室 中川 教子

新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は一変しました。2023年5月より5類感染症に位置付けられ、コロナ禍を経て生活様式は新しいものに変化し、日常は戻りつつあります。しかし、医療機関においては院内での感染者の発生が及ぼす影響の大きさを考えると、一般社会に比べ、より慎重に対応せざるを得ない状況は続いています。

当センターでも、入院患者さんの高齢化、基礎疾患を持つ患者さんが多いことから、新型コロナウイルス感染症による重症化リスクは高いと考え、職員のみならず、外来患者さんや入院されている患者さんへも院内感染対策への協力をお願いしています。

その一方で、新型コロナウイルスの特性として明らかとなったことも多く、手指衛生・个人防护具・環境清掃などの標準予防策の重要性が改めて認識されています。また、ワクチンや治療薬、検査法の普及、感染経路や対策に関する知見の積み重ねによって、感染対策として徹底すべきこと、緩和してもよいことなどが分かってきました。

当センターは、リハビリテーション科・精神科および認知症に特化しており、治療・療養の場であることはもちろん、生活の場ともなっています。入院中の患者さんの治療・リハビリテーション診療が継続でき、生活の質を低下させないよう、院内の感染拡大防止のために最善の策を講じることを目標に活動しています。

当センターでも新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を経験し、いかに日頃からの感染対策が重要であるかを改めて実感しました。そこで、院内で実践している感染対策の取り組みの一部を紹介します。

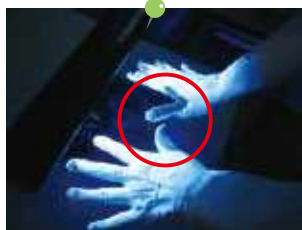
手指消毒剤の携帯

当センターは、診療科の特徴上、手指消毒剤の設置が困難です。看護や機能訓練を提供するスタッフは、必要なタイミングで手指消毒ができるよう携帯しています。



手指衛生トレーニング

ブラックライトを用いて、手指消毒が正しくできているか確認します。擦り込み状況を確認し、手指消毒のポイントを指導しています。



个人防护具着脱トレーニング

必ず手順をみて行います。使用した个人防护具から汚染を広げない、自身が感染しないよう定期的にトレーニングしています。



＊ とう じゅ しん よやく にゅういんもうし こ
＊ 当センターの受診予約・入院申込みについて

当センターのリハビリテーション科、精神科、放射線科、もの忘れ外来は全て予約制になっております。現在受診している医療機関がある場合は紹介状をご準備いただき診療予約をしたうえで来院して下さい。

また、当センターではFAXによる入院予約申込み（リハビリテーション科のみ）も受付けております。初めてFAXによる入院予約を希望される場合は「医療相談連携室」までご相談下さい。

（外来受診・FAX入院予約に関する申し込み・問い合わせ先）

TEL 018-892-3751（代表）医療相談連携室まで

FAX 018-892-3816（医療相談連携室）

＊ のう にん ちしやう
＊ 脳・認知症ドック

脳・認知症ドックとは、MRI等の検査によって脳疾患及び認知症の有無をチェックする健診です。健診とその検査結果の説明は同日中に担当医から行われます。

検査日：毎週金曜日（予約制） 午前8時30分～午後0時30分

脳・認知症ドックのご予約、費用などのお問い合わせは

TEL 018-892-3751（代表）医事課まで

FAX 018-892-3759（医事課）

検査内容

血圧測定、体組成形（身長、体重、BMI）、腹囲測定、尿検査、血液検査、胸部X線撮影、頭部MRI、心電図、血圧脈波、頸部エコー、認知機能検査

がいらいしんりやうたんとうひやう
外来診療担当表

外来診療受付時間 午前 8:30～11:00



【リハビリテーション科】 ※脳ドック…金曜日（午前）

	月	火	水	木	金
新患	—	—	—	横山・荒巻 宮田	—
再来	荒巻晋治	佐山 一郎(隔週)	横山 絵里子	—	宮田美生

【精神科】

	月	火	水	木	金
新患	工藤瑞樹 小林祐美	成田恵理子	小阪 剛 向井長弘	柴田菜那 須田秀可	倉田 晋
再来1	倉田 晋	向井長弘	兼子義彦	倉田 晋	成田恵理子
再来2	須田秀可	佐藤隆郎	須田秀可	向井長弘	工藤瑞樹
再来3	成田恵理子	小林祐美	工藤瑞樹	小林祐美	柴田菜那
再来4	兼子義彦	小阪 剛	柴田菜那	—	小阪 剛
クロザリル外来	—	—	倉田 晋 向井長弘	—	—
午後救急	兼子義彦	小阪 剛	柴田菜那	小林祐美	工藤瑞樹

【もの忘れ・高次脳機能障害・若年性認知症外来】

	月	火	水	木	金
新患	佐藤 隆郎(精神科)	笹嶋 寿郎(リハ科)	佐藤 隆郎(精神科)	下村 辰雄(リハ科)	小林祐美(隔週 精神科)
再来	—	下村 辰雄(リハ科) 佐藤 隆郎(精神科) 笹嶋 寿郎(リハ科)	下村 辰雄(リハ科) 佐藤 隆郎(精神科) —	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	下村 辰雄
若年性認知症外来	—	—	—	—	下村 辰雄

令和6年4月現在 ※診療体制は今後も変更となる部分がありますので、ご了承ください。



あき た けん りつ せい しん い り ょ う
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター



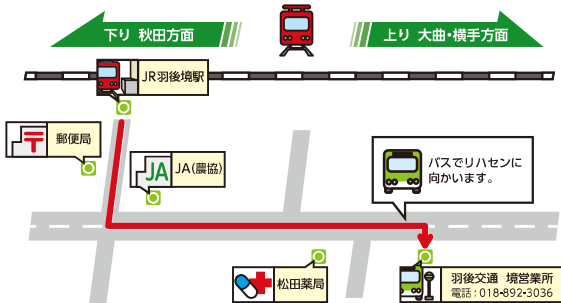
電車とバスでリハセンに来るには 2024年4月現在

1. JR 奥羽本線、羽後境駅で下車。
2. 徒歩で羽後交通境営業所に向かいます。(約3分)
3. 羽後交通境営業所から淀川線でリハセン経由「福部羅行き」に乗ります。
4. 羽後交通境営業所からリハセンまで約10分。リハセン玄関前のバス停で下車。

バス時刻表 (2024年4月1日現在)

淀川線 (境～協和小学校～リハビリセンター～中逢田～下川口～福部羅)			
境案内所	リハビリセンター	リハビリセンター	境案内所
発	着	発	着
8:10	8:20	—	▲ 7:52
▲ 9:15	▲ 9:25	7:38	7:54
10:20	10:30	9:18	9:28
▲ 11:14	▲ 11:30	▲ 9:30	▲ 9:40
12:25	12:41	11:28	11:38
▲ 14:15	▲ 14:31	▲ 12:28	▲ 12:44
15:15	15:31	13:51	14:01
▲ 16:15	▲ 16:31	▲ 15:36	▲ 15:46
17:20	17:36	16:36	16:46
▲ 18:34	—	▲ 17:36	▲ 17:46
		18:36	18:46

▲印は土・日・祝運休



所要時間と料金		
JR上り	JR下り	バス
秋田駅～羽後境駅 約25分 運賃510円	大曲駅～羽後境駅 約24分 運賃420円	境営業所～リハセン前 約10分 運賃330円

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター診療情報

診療科目：リハビリテーション科、精神科、放射線科
 診療日：月～金（祝日・12月29日から1月3日を除く）
 受付時間：午前8：30から11：00まで

病床数：一般病床：50床、療養病床：50床、精神病床：200床

●センターの特徴：365日毎日リハビリ訓練
 脳・認知症ドック・物忘れ外来
 画像診断（CT・MRI・SPECT）
 日本医療機能評価機構認定

ロゴマークについて

2色の若葉は命の力強さとリハビリテーション科・精神科を表し、それが交わることでそれぞれの特性を生かしつつ協力して診療にあたる様子を表現しています。周囲の円は、患者さんと職員のパートナーシップや地域との連携、多職種協働の理念を表しています。



相談のご案内

リハセンへの受診や入院に関することについて、電話やFAXでの相談に応じております。お気軽にどうぞ。

発行

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

〒019-2492
 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 352
 TEL: 018-892-3751 (代表)
 FAX: 018-892-3757 (総務管理課)
 発行責任者 下村 辰雄